100切りの為のパッティング教室

パッティングの基本を学ぶことができるスコアアップの近道〜

こんなパッティングの
お悩みありませんか？

ポジティブなマインド

ショートパットに自信がない・・・

不安や焦りでパッティングに自信がない

目標に対しての正しい方向性

正しいアドレスができない・・・

ドレスすると違和感がある・・・

いつもカップの左or右側に外れる・・・

安定したストローク

テークバックが短くインパクトに
力が入る・・・

毎回距離のタッチが合わない

グリップに力が入りぎこちない

平均パットの数

3パットを重ねてしまう・・・

3パットからリズムが崩れてしまう・・

パッティングで悩んでいない
ゴルファーはいない？？

まずはパッティングの基本を学ぶ

パッティングの基本を
「座学」と「実践」の2講座で学ぶ

スコア100を切りを目指すゴルファーの為の教室

100を切るにはまずパッティングの精度を上げること！

・100を打つ人の平均パット数は40ストローク（18ホールで）
この数字は少なくとも18Hで６回以上の３パットがあるからです

・ショットの精度を上げるより、パッティングの精度を上げる方が早く、しかも容易にでき、スコアも良くなるからです。

・パッティングが向上するとショットへのゆとりができ、ショットの精度も上がりストロークにも良い影響があるからです。

スコアの40%を
パッティングが占めます

目標に対しての正しい方向を取る方法

正しいアドレスとは
正しいアドレスの方向性と方法
空間方向認知の確認

正しいストロークについて

正しいストロークとは
正しいストロークをするためのグリップ

目標に対しての正しい距離の合わせ方

目からの情報を最大限活かす
結果とそのプロセスをイメージする
イメージしたライン上にボールをトレースするように送り出す

1.5M以内のパットの成功率を80%以上にする

正しいラインの読み
距離に応じたストロークの大きさと強さ
否定的な思考の排除

100切りの為のパッティング教室（座学/実践）

多くのゴルファーは目標に対する正しい方向性及び距離（ボールのスピードコントロール）のコントロールができていないため。それを改善することを目的に教室は開催される

カリキュラム【1】【2】

目標に対しての正しい方向を取る方法

① 正しいアドレスとは（座学）
② 正しいアドレスを行う方法（実践）
③ 空間方向認知機能の確認（座学＆実践）

正しいストロークについて

① 正しいストロークとは（座学）
② 正しいストロークをする為のグリップとは（実践）

カリキュラム【3】【4】

目標に対しての正しい距離の合わせ方

① 目からの情報を最大限活かす（座学）
② 結果とそのプロセスをイメージする（座学）
③ イメージしたライン上にボールをトレースするように送り出す（実践）

1.5m以内のパットの成功率を80%以上にする

① 正しいラインの読み（座学）
② 距離に応じたストロークの大きさと強さ （座学/実践）
③ 否定的な思考の排除（座学）

お客様の声

「誰にも教えたくない」

「パッティングの常識が変わりました」

多くのお客様より、嬉しい声をいただいております

性別：**男性**　年齢：**40歳代**

①診断を受けようと思ったきっかけ
InstagramでARGOLFのパターフィティングを知り興味があったので予約を入れさせて頂きました。

②ARGOLFのパターの感想を教えてください
道具の説明をきけたり、物理的な観点からパターと言う道具の扱い方を教えて頂けて勉強になりました。パターの長さをチェックするとボールのポジションが変わったり、ライ角の角度も変わるのでパターヘッドの向く方向まで変わる事に驚きました。正しいスペックとポジションを知る事が出来てよかったです。

③今回のフィッティングを通して一番理解できたポイントはなんですか
アドレスの形を色々と真似て気にしていましたが、グリップの支え方を教わりストロークの動きが改善されパッティングに対しての気持ちが楽になりました。

性別：**女性**　年齢：**50歳代**

①診断を受けようと思ったきっかけ
距離感の出し方がわからなくて診断を受けてフィッターの方へ相談したいと思いました。

②ARGOLFのパターの感想を教えてください
傾斜が変わる台を使って傾斜に対しての打ち出す方向を教えて頂き楽しかったです。女性フィッターがいらっしゃったのも良かったです。

③今回のフィッティングを通して一番理解できたポイントはなんですか
アドレスに入っていく時の正しいルーティンを教わり方向の取り方がわかる様になって嬉しいです。距離に対しての素振りの仕方も教えて頂きました。

性別：**女性**　年齢：**20歳代**

①診断を受けようと思ったきっかけ
インドアスクールでスイングのレッスンは受けていますが、パターのレッスンは受けた事がないので診断を申し込みました。

②ARGOLFのパターの感想を教えてください
コースへ行く機会が少ないので、パターをどうやって練習したら良いのかわからなかったのですが、構えた時のボールの位置とアドレスをする順番を教えてもらい練習の仕方がわかる様になりました。

③今回のフィッティングを通して一番理解できたポイントはなんですか
スイングとパッティングは練習の仕方が違うことがわかりました。フッターさんから、パターが上手になるとコースへ行った時のアプローチが上手になりることの説明を聞きなるほどと理解できました。

性別：**男性**　年齢：**50歳代**

①診断を受けようと思ったきっかけ
同伴者の方が29パットでラウンドされていてパットの事をお伺いしたらARGOLFでパターフィティングを受けてから調子が良くなって来たと聞いてすぐに予約を入れました。

②ARGOLFのパターの感想を教えてください
パターヘッドの方向性チェックをして頂き自分に合うパターヘッドの形状を知る事ができて良かったです。今使っているパターの方向がこんなにもズレていた事には驚きです。

③今回のフィッティングを通して一番理解できたポイントはなんですか
右手と左手の役割を教えて頂きストロークが自然な動きとなりました。もう少し理解を深める為にもパターレッスンへ通う事にしました。

あなたのパッティングは間違いなく向上します！

まずはスタジオにお越しください

Special putting coach
松尾 俊介 Shunsuke MATSUO

1949年生　神奈川県出身
東海大学工学部航空宇宙学科卒　パイロット志望から一転、ゴルフ用品販売業務に携わる。メーカーのプロサービスチームのサービスのシステムを取り込んだ実験的工房を茅ヶ崎で主宰。顧客のスウィングを観察しそれに合わせた形でクラブを組み立てて提供するやり方でメディアの注目を集める。工房を主宰しながらゴルフライターとしての活動を1988年より開始する。国内外のクラブメーカー26社を取材する傍らトーナメント取材を通じてゴルフクラブ開発の現場やゴルフクラブとスウィングの関係を学ぶ。1994年に米国キャロウェイゴルフの社員として日本に駐在、日本法人の立ち上げにも奔走する。2000年から日本法人のPR担当として2014年まで広報・渉外活動に従事。オデッセイパターのフィッティングマニュアルの作成にも関わる。2015年から３年間、最新機器を使ったクラブフィッティング＆パターフィッティングを実践。その経験の中からスウィングとクラブの関係の新しい考え方に基づく「スクエアスウィング＆スクエアインパクト」という理論（仮説）を構築。2021年　ARGOLF Japanの設立に尽力し技術顧問として就任し現在に至る。

定員　4名

受講料金　13200円

スケジュール

カリキュラム【1】【2】

5月19日　金曜日
17：30～19：00

カリキュラム【3】【4】

5月〇〇日　金曜日
17：30～19：00